広島西南ロータリークラブ 会報

Rotary

No.1269号

2022-2023 RI theme
IMAGINE ROTARY

イマジン ロータリー

10月

経済と地域社会の発展月間・米山月間

URL https://hiroshima-swrc.jp

10月24日　ガバナー公式訪問例会（次頁に写真掲載）

ガバナー公式訪問例会　10月24日（月）

Rotary

2022～2023 年度国際ロータリー第 2710 地区

広島西南・広島廿日市ロータリークラブ合同

ガバナー公式訪問フォーラム次第

日時：2022 年 10 月 24 日(月)　13：40～15：10
場所：広島サンプラザ 2F「銀河の間」

1．会長挨拶　佐藤克則 会長（西南 RC）

2．公式訪問フォーラム
（1）開　会　香川基吉 ガバナー補佐

（2）石川良興ガバナーご挨拶

（3）各テーマについての発表と質問

① 会員増強について　河内正晴 会員増強委員長（廿日市）

② 5 大奉仕と 7 つの重点分野について　三宅陽一郎 奉仕プロジェクト理事（西南）

③ ロータリーの公共イメージ向上について　岡本倫明 公共イメージ理事（西南）

（4）新入会員のオリエンテーションと親睦について
佐々木潤（西南）・小林伸行（西南）
岡崎浩昭（廿日市）・長江達郎（廿日市）

（5）ガバナーへの質問事項

（6）講　評　石川良興 ガバナー
随行幹事所感　岡崎昌子 随行幹事

（7）閉　会　香川基吉 ガバナー補佐

3．謝　辞　石原弘善 会長（廿日市 RC）

Rotary District 2710
国際ロータリー第 2710 地区事務局
〒732-0822 広島市南区松原町 1-5
ホテルグランヴィア広島 6F
TEL(082)506-0055 FAX(082)263-2323
E-mail info@ri2710.com

Rotary International District 2710 Office
Hotel Granvia Hiroshima 6F,
1-5 Matsubara-Cho Minami-ku Hiroshima 732-0822 Japan
TEL +81-82-506-0055 FAX +81-82-263-2323

2022 年 10 月 25 日

国際ロータリー第 2710 地区
広島西南ロータリークラブ
2022-23 年度会長　佐藤　克則 様

国際ロータリー第 2710 地区
2022-23 年度ガバナー　石川　良興

拝啓　時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素よりロータリー活動にご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨日のガバナー公式訪問に際しましては、会長 佐藤　克則様、幹事 宮崎　真様をはじめ、皆様の行き届いたお心遣いにより、大変充実した公式訪問となりましたことを心より感謝申し上げます。

フォーラムにおきましても、貴クラブの特色ある奉仕活動やこれからのロータリーに対する取り組みなど有意義な討議が行われ、地区としても得る物が多く大変感銘を受けた次第です。

今後は貴クラブ発展のために御尽力いただきますと共に、第 2710 地区に対しましてもご指導ご協力賜りますようお願い申し上げ、貴クラブ関係各位の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お礼のご挨拶にかえさせていただきます。

敬具

会長時間

第1668回例会　10月４日

「令和４年10月施行の社会保険の適用拡大について」

令和４年10月より健康保険・厚生年金保険において、パートタイマーなど短時間労働者について被保険者の適用拡大がされます。今日はそのあらましをお話ししましょう。

短時間労働者の社会保険（厚生年金保険、健康保険）の加入について、今までは１週間又は１か月の所定労働時間が通常の労働者の４分の３以上の労働者について適用されておりました。加えて、70歳未満の社会保険の被保険者数が500人を超える企業では、従事する労働者のうち以下の者は被保険者として扱われておりました。

・１週間の所定労働時間が20時間以上であること
・継続して１年を超えて使用されることが見込まれること
・報酬額が月88,000円以上であること
・学生でないこと

今回の適用拡大において、今まで70歳未満の社会保険の被保険者数が500人を超える企業という箇所が100人を超える企業で、と改正されました。従事する労働者のうち、「また継続して１年を超えて使用されることが見込まれること」という項が「継続して２か月を超えて使用されることが見込まれること」と改められました。

この改正により、社会保険の被保険者数が100人を超える企業では、週20時間以上30時間未満で働く労働者が新たに社会保険への加入が必要となります。

さらに、令和６年10月以降は被保険者数が50人を超える企業に対しても適用が拡大されます。

社会保険の適用拡大の対象となる労働者の要件（所定労働時間や報酬額）は、契約に基づいて判断することになります。そのため、実態との乖離が認められる場合には契約の見直しを行いましょう。

なお、所定労働時間が週20時間未満の労働者が、連続する２か月において週20時間を超え、その状況が今後も続くことが見込まれる場合、その他の要件に該当すれば３か月目より社会保険への加入が必要となります。

「報酬額が月88,000円以上であること」の要件ですが、最低賃金の確認の際に含まれる賃金と同様の為、時間外手当や通勤手当は含まれません。ただし、実際の保険料額を算定する際は時間外手当や通勤手当を含めて算出するため、混同しないように注意しましょう。

また、インターネットで検索すると、年収106万円（88,000円×12か月＝1,056,000円）を超えると社会保険の適用拡大で加入が必要になるという情報を見かけますが、実際はあくまで月額88,000円を超えているかどうかで判断することになります。年収106万円は目安とはなり得ますが、判断の基準ではありません。労務管理をする上では、正しい情報を取得することも大切です。

被保険者数は、法人単位で月ごとに被保険者数をカウントし、直近12か月のうち６か月で100人を超えると対象となります。自社が令和４年10月からの適用拡大の対象かどうかは、８月に「特定適用事業所該当事前のお知らせ」が送付され、10月には「特定適用事業所該当通知書」が送付されます。

社会保険の適用拡大の対象となるパートタイム労働者の多くは次の２つから今後の働き方を選択することになるでしょう。

①　社会保険料の控除があっても一定の手取りが確保できるように労働時間を延長する
②　家族の扶養等で働き続けるために、社会保険に加入しないように労働時間を減らす

仮に②の選択をするパートタイム労働者が多い場合には、単純に労働力が減少することになります。そうなると必要な労働力を確保するために、新たな人材を採用することも視野に入れなければなりません。企業としては制度の利点などの説明を通じて、できるだけ①を選択する労働者を増やすことも１つの方法と言えます。

早急に加入が必要となる対象者をピックアップして制度説明を行い、必要であれば各種労働条件などの見直しを行うことが必要です。対応が遅くなると、パートタイム労働者の離職に繋がる可能性もあるため、注意しましょう。

第1669回例会　10月18日

「リカレントとリスキング」

この頃、リカレントとかリスキングという言葉を耳にするようになりました。仕事で求められる能力を磨き続けていくことは、企業にとっても個人にとっても、これからますます重要な課題です。

社会人になった後に、それぞれのタイミングで学び直すことをリカレント教育と呼び、特に、進化し続けるDX（デジタルトランスフォーメーション）やIT活用といった新しい労働環境に対応するためには、主体的な学びが何より必要であるといえます。

そのためには中小企業においても、従業員のリカレント教育をサポートしていく必要があります。もっとも、それ以前に系統だった人材育成計画をきちんと立てておかなければなりませんが。

リカレント教育は、従業員のスキルアップやキャリア形成に役立つだけではなく、教育で得た学びを事業に還元することにもつながります。

『リカレント』（recurrent）という言葉には、『循環』や『再発』などの意味があり、リカレント教育は、『学び直し』と訳されることがあります。

入社から５年、10年を経た中堅社員が新たな労働環境の変化に適応するには、企業研修やセミナーに頼る

だけではなく、主体的な学びが必要不可欠です。そのため、企業もリカレント教育を推進する必要があります。

一方、リスキリングとは、技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、業務上で必要とされる新しい知識やスキルを学ぶことです。経済産業省はリスキリング（Re-skilling）を以下のように定義しています。

「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」

「リスキリング＝DX教育」では必ずしもありませんが、近年では、特にDX化のための新たなスキルの習得や、仕事の進め方が大幅に変わるであろう職業につくためのスキル習得を指すことが増えています。

またリスキリングは、社会の要請により就業者のスキルを変質させるという意味において、学びを提供する企業側の視点が強い言葉ですが、学ぶ本人の主体性なしに成功はありません。そのため『獲得する／させる』と双方の視点からの表現が併記されています。

リカレントやリスキングが浸透している欧米に比べると、日本ではまだまだ普及が遅れており、社会人になってから学び直しを行っている人は多くはありません。

企業がリカレントやリスキングの重要性を理解しサポートしていくことで、従業員は学びの成果を社内で発揮することができます。その結果、従業員と企業、双方の成長につなげることができるでしょう。

第1670回例会　10月24日

「ガバナー公式訪問に寄せて」

本日はガバナー公式訪問の日です。ここに石川ガバナーをお迎えしました。

また、久しぶりの、３年ぶりですか、広島廿日市ロータリークラブ、広島西南ロータリークラブ合同の例会です。馴染みのお顔も拝見できますね。

さて、先日2710地区の地区大会が周南市において開催されました。コロナ禍の中、３年ぶりの開催です。やはりいいものですね。皆さんが、いわゆるリアルに集まって、話を聴き、学びあい、懇親を深めることは。ガバナーをはじめ、お話しいただいた皆様の話も、それぞれ面白くて役に立つものでした。

地区大会に参加すると、いろんなロータリークラブがあるのだなということをしみじみ感じます。また、ロータリーの経年変化も感じます。自分より若い会員も増えました。まだまだとはいえ、女性会員の参加も見られます。掲げるテーマも変わってきました。変化は続くでしょうが、興味深いところです。

皆さん、中国新聞に開催紹介の記事が事前に、そして開催結果が終了後に掲載されていたのをご存じですか。事前記事は14日の金曜日、タイトルは「海で維ぐ過去から今、そして未来へ」というテーマで、石川ガバナーがそのポイントを述べておられます。また、17日の月曜日、「平和の推進などを決議」というタイトルで、開催結果が報じられました。こうしてマスコミに取り上げられるのも、嬉しいものです。

本日はまた改めて、石川ガバナーの卓話を頂きます。どういうお話を頂けるか、楽しみなところです。ただ、お話の中には、これからのロータリークラブとして、その一員として、学び、考え、行動しなければならないことも沢山あると思います。改めてロータリー活動を実践していくための貴重な時間として送ってまいりましょう。

これからも、広島廿日市ロータリークラブ、広島西南ロータリークラブが手を取り合って、ロータリー活動を活性化できたらいいなと思っております。皆様よろしくお願いいたします。

例　会　記　録

第1668回例会　10月４日

12:30～13:30　ANAクラウンプラザホテル

国歌・われらの生業
香川ガバナー補佐挨拶
奥田会員退会挨拶
お誕生記念月記念品贈呈

根石会員スピーチ

本日は、お誕生日のお祝いありがとうございます。11日で55歳となります。

皆様の前で48歳の年男のお話をしてからあっという間に７年経ち四捨五入すると60歳で、還暦も視野に入る歳になりました。

どなたかがお話になっておられましたが、年をとればとるほど日々が過ぎるのが早く感じられるようになるようです。

１歳の子供にとっては、１日は365分の１、これが２才なら730分の１、これが50才なら、計算はしませんが、長く生きれば生きるほど人生における一日の割合は小さくなっていって、これが生きている実感かなと思います。

一日を短く感じて生きていけるのも、幸せの内と思って、家族や職場や皆様に感謝し、また来年ロータリーでお祝いをいただけるよう頑張ってまいりたいと思いますので、本日は本当にありがとうございました。

会長時間

幹事報告

ロータリーレート変更の案内（１ドル139円→145円、10月から）。／ロータリーの友誌・ガバナー月信・米山豆辞典配布の案内。／10月16日（日）は地区大会本会議開催。申込会員はバスの発車時間を確認のこと。／理事会決議により、次回例会よりZoom配信を一旦中止。リアル例会出席者減少につき理解と協力のお願い（会費と同封で案内済）。／例会終了後、クラブ協議会開催。／次週は休会、次回例会は10月18日（火）。

スマイルボックス

井上俊博　会員、小野誠　会員、佐藤克則　会員

出席報告

会員数 65名　出　席 52名（うちZoom出席12名）
　　欠　席 13名　来　賓　3名

プログラム

外部講師卓話

「目標達成するチーム作りの秘訣」
㈱中尾経営　代表取締役（中小企業診断士）
中尾友和　様

卓話要旨

※事業成功のための考え方

・「どうやったらそうなるか考えて、その通りにするだけ」＝戦略的逆算思考

※組織に必要とされる力

①逆算力・・・・・・・目標の言語化と数値化
②巻き込み力・・・・・目標や理念の共有・共感を図り、意欲を増長させる。
③AAPな空気作り・・・安心・安全・ポジティブなチームの空気

第1669回例会　10月18日

12:30～13:30　ANAクラウンプラザホテル

奉仕の理想
四つのテスト唱和
ご結婚記念月記念品贈呈

曽里会員スピーチ

本日は結婚記念日のお祝いを頂きありがとうございます。

丁度本日10月18日が私たちの結婚記念日で、結婚して44年になります。振り返ると子育てから親の介護まで色々な人生のステージを経験しました。現在家内が母親の介護中ですが、これからはできるだけゆっくりと余生を送りたいと思います。

会長時間

幹事報告

2021-22年度事業報告書・クラブ月報配布の案内。／11月１日（火）夜開催の新会員歓迎会の案内を回覧。未回答者は回答のこと。／次週は10月25日（火）例会を10月24日（月）に変更し広島サンプラザにて廿日市RCとの合同公式訪問・フォーラムを開催（出欠表は受付設置）。駐車場からの移動距離が長いので、車での来会者は余裕をもって来会のこと。席はテーブル指定・テーブル内自由席。

スマイルボックス

稲田健二　会員、小野誠　会員

出席報告

会員数 65名　出　席 38名　欠　席 27名
　　来　客　0名

プログラム

会員卓話

米山委員会月間卓話

河原英二　米山委員長

米山奨学委員会委員長の河原英二です。

先日のプログラムではビデオ「世界へ届け　米山の架け橋　ロータリー米山記念奨学会　財団設立50周年記念」を流させていただきました。

※参照　YouTube＞

作成者：RotaryYoneyama MemorialFoundation

日本独自の奨学金制度だと確認し、改めて感心しました。

日本ファンができることで、世界平和に繋がると思いました。

新会員卓話

小林伸行　会員

みなさんこんにちは。株式会社玉屋の小林伸行です。

本日は新入会員卓話ということですが、私自身の生い立ちと、仕事のことについて少しだけお話ししたいと思います。

こういった場所は不慣れなのでご容赦ください。

私は昭和49年２月23日の生まれです。両親の母方が熊野町に住んでいたので熊野町の片山医院いうところで生まれました。当時は志村けんさんがドリフターズに入団し、長嶋茂雄さんが現役を引退され「巨人軍は永遠に不滅です」が記憶に残る年みたいです。

その後、小学校４年生10歳に現在実家のある南区仁保に引っ越し成長いたしました。

仁保中学、大手町商業高校卒業して、いろんな仕事がしたくて様々な職種をしていました。ちょうど20歳ぐらいの時に地元の友達が仕出しをしていて、忙しいから手伝ってもらえないかということで、働きはじめました。

当時は仕出しが数多く出る時代で、朝早くから夕方の配達まで大変な仕事でした。仕事が落ち着いたときは、各企業やお客様に営業で回っていました、そこで玉屋にも営業に行くようになり、妻と知り合うこととなります。

そうこうしていると玉屋で１人、現場の方が辞められるという由、営業で出入りしていた僕にオファーがあり、両親には反対されつつでしたが悩んだ末、平成８年1996年に就職に至りました。

それからが壮絶大変でした。現場の皆さんは、もはや職人気質で癖が強く難しい方ばかり、お前なんか３日で穴をわると言われながらついていきました。

当時は自宅かお寺か集会所…大体その場所で葬儀をすることが前提、祭壇も白木の組み立て祭壇が多く飾られ現場が多く担ぎ込みばかりで、大変だったことを思い出します。当時は生花より、皆様もご存じかと思いますが、外に飾る花輪が多く出るので売り上げもよく、花輪が社員の給料になるといっても過言ではありません。現場にはトラックは３台が必須なほどでした。天候にも左右され、雨が降ればテントを立てたり、自宅の中庭には軒刷り、椅子や季節によって扇風機・ストーブを準備するのが当たり前で、お葬式自体も各自治体と連携し、煮炊きをする地域だったりとお手伝いや留守番の方へのお願いだったり、地域で全く違う風習があり覚えるのが大変な時代でしたこれが、約30年前のお話になろうかと思います。

そのころ、不気味な影が動いていました。それは、大手互助会の葬儀会館が各地域に立ち始め、我々専門業者は肩身の狭い時代に落ちていきます。同業者も宗教者も大変です。今までの葬儀形態が現場から会館葬の時代が始まります。厳しい時代、お客様はどんどん互助会に流れ、便利な会館は個人葬から社葬や大規模な葬儀まで広がります。一般の個人葬でも会館葬は高額な費用だったと思います。我々は地域密着で各地域に根付きいろんなご縁でかいくぐりました。また、芸能界やメディア等で香典の辞退やお花の辞退など時代が変わり進物も出ない、とどめは2010年、葬式は要らないという本が出版、島田裕巳先生が出された著書で話題になり、お葬式はいらない、読経は頂いても戒名もいらないなど、大変混乱が起きて色々な形式がなくなり始めました、ほとんどなかった直葬や無宗教葬などが出てくるようになりました。

忘れられないのは、2011年３月11日の東日本大震災です。日本中が泣き僕たちも他人ごとではないとは思っていましたが、２日後３月13日大手企業から呼び出しがあり、派遣した下請けの社員が向こうで被災したので４人を広島に連れて帰ってほしいとの依頼…今すぐ東京へ行けそして指示が出るまで待機！と言われ、この人たちは、僕たちをただの駒扱い、大企業ってこんなもんかと…また、地震や津波が来て死ぬかもなぁと思いつつ、社に戻り勇気ある社員を募りました。何の保証もないので家族に相談して嫌なら来なくて大丈夫と声をかけ６人が集まりました。あるだけの霊柩車が出動、交代で運転し東京へ向かい明け方には到着しました。着いたのは良いのですがとにかく東京では電波障害と地震が頻繁に起きてアラートがそこら中で鳴り響き、いつ帰れるのかわからない。現場からの連絡もなくただ待ち続けました。連絡が入り現場の茨城県に行けと指示があり、検視のため明日の引き渡しになるということ茨城で１泊、翌日引き渡し頂きましたがそれからが大変。ガソリンはない食べ物はないナビ通り進むと道が壊れて走れない。逃げ道を探しつつガソリンを気にしながら帰路につきました。大蛇のような渋滞を待ち、やっとガソリンが注げると思いきや１台20リットル限定でした。その燃料でなんとかその場から脱出。徐々に燃料補給して静岡までたどり着きパーキングエリアでやっと食事にありつけましたが…地震が発生、「逃げろっ」と叫んで一番に逃げ出したのはその叫んだパーキングエリアの人でした。それが３月15日に発生した静岡東部大地震でした。もう帰ろうとあまり休むことなく３月16日無事任務は終わりました。ただし、誰一人弊社で葬儀はしてくれませんでした。仕方ありません。派遣したところの業者に頼むはずもありません。

2014年の広島豪雨災害や2018年と広島も災害が起きて多くの方が犠牲になられました。広島も安全ではないと自然の恐ろしさを痛感しました。

2014年の災害で安佐南区の被災地にてボランティアセンターを手伝っていると自動販売機が到着しました。それは、ボランティアにふるまうための機械でした。その時お持ちされたのがロータリークラブでした。流石、規模も考え方もが違うとセンター一同感動の渦に巻かれましたことを覚えています。

話が脱線しましたが、2009年からイオングループが業界に参入、イオンのお葬式が始まりこれが全国の葬儀価格を変えていきます。イオン独自の「葬儀サービス品質基準」を定め、それに沿った葬儀プランと費用を打ち出し、下請けの葬儀業者にそれを実施させてきました。

2010年代に入り、小さなお葬式が葬儀価格を明確化、パック化による定額料金制、インターネットでの申込などを特徴とした、地元葬儀社との間を仲介する業界改革モデルが登場、「葬儀仲介サービス」が始まります。

かつての日本の葬儀は、「家」を中心に行われてきました。これは封建時代の大家族制度に基づき血縁によって結ばれた「家」の概念によるもので、本家・分家の関係、親族の関係、または「家」と地域との結びつきなどを重視した、「社会的儀礼」としての意味合いでした。

このため、規模の差はあれ、世間の常識から大きくはずれるスタイルの葬儀は避けられました。その地域に伝わる風習に厳密にのっとった葬儀を形通りに行うことが、「家族制度が守られ、親族の統制がとれており、地域への親和性も高い証拠」という一種の基準になっていたのかなと思います。

何事も時代に合わせて変化し、その時流に沿ったスタイルに徐々に改められていくもので、昨今では「家」の概念は大きく変わり、親・子・兄弟といった近しい直系親族が中心となって、小さな「家」が構成されるようになりました。

また、昔よりはるかに「親族」に対する考え方の範囲が狭くなり、葬儀も直系親族およびふだんから交流のある近しい親族だけで行われるケースが増えています。

もちろん、従来型の親族・地域との結びつきの深い大規模な葬儀は今まで多く行われていますし、電話・インターネットなどの連絡手段や、交通機関の発達によって、むしろ昔よりも広範囲なエリアから人が集まる葬儀は増えています。しかしその半面、昔は親族の世間体や近隣・地域への遠慮から数が限られていた密葬や家族葬の数が増え、形式的には従来型の葬儀であっても、その規模や参列者の範囲は昔に比べて両極化が進んでいます。

子どものいない夫婦２人世帯や高齢者の単身世帯の増加といった世の中の変化は、通夜を省略する一日葬や葬儀などの社会的儀式を行わない直葬といったシンプルな葬儀のスタイルも一般化させました。

また、都市部を中心に世間体や近隣・地域への遠慮といった意識が薄れ、故人の意志や価値観を尊重した自由なスタイルの葬儀に対する抵抗も少なくなってきたと思います。このため、生前に家族・友人・知人などへ厚誼の感謝を伝える「生前葬」、音楽好きな故人のために音楽を中心として式を進行する「音楽葬」、故人が愛した旅先のホテルなどでお別れ会を兼ねて行われる「ホテル葬」など、形式にとらわれず、もっとも故人が喜ぶスタイルを追求した葬儀も増えています。

日本で行われる葬儀は相変わらず圧倒的に仏式が多いのですが、かつての檀家制度の名残りであり、「家」の意識の変化とともに、「信仰をともなわない形だけの仏教徒であれば、仏式葬に囚われる必要はない」と考える人も増えました。

現代の日本では信教の自由が憲法で認められており、また宗教を持たない自由もあります。このため、特定の宗教形式に基づかない無宗教葬も多くみられるようになっています。宗教の自由といえば、特定のお墓を持たず、遺骨を粉末化して海に還す「海洋散骨」を希望する人も増えています。また、お墓は建てるものの、特定の宗教に基づくお墓ではなく自然の樹木を墓標とする「樹木葬」などの自然葬も珍しくなくなりました。

徐々に家族葬が当たり前な世の中にダメ押しの2019年、新型コロナウイルスの到来、最初は海外だけの話だと考えていたのも束の間でした。この日本にもコロナウイルスが蔓延し始め、志村けんさんがコロナウイルスでお亡くなりになり、葬儀もできず、親族も立ち会えない中、荼毘に付され遺骨のみが引き渡されるニュースは衝撃的でした。コロナウイルスの恐ろしさが世に知らしめたのではないかと思います。

コロナ禍が始まり葬儀も変わり始めます、人が集まる場所でのクラスターの発生、中には葬儀会館でクラスターもあり、風評被害が壮大でその葬儀社が大打撃を受けたということもありました。緊急事態宣言が発令され病院の面会謝絶に始まり、一気に仕事が激減したことは今でも不思議でなりません。お見舞いや出入り業者そして第三者がいろんな病原菌を持ち込んでいるだろうと自身は思いました。コロナ対策に手を焼かれながら、広島でも恐れていたコロナ死が始まります。保健所からの指導の下、我々も荼毘に付すことしかできません。広島も規制は厳しく、立ち合い、収骨もできない状態でした。非透過性の納体袋に入れ棺に納めガムテープなどで棺の隙間を塞ぎ、我々が完全防備でお送りすることになります。担当者は濃厚接触者扱いで出社できません。霊柩車も同様です。担当者は自宅待機、霊柩車は消毒しコロナ専用となりました。コロナ死が出るときのみ勤務と隔離されることになりました。葬儀では特に我々も気が気ではありません。

親戚が東京などの都心部から来る、喪主が大阪にいるからなどとコロナ陽性率が高い地域から来ます。「遺族はコロナ禍でどこまで呼んでいいですか？」「友人・知人は参列しても大丈夫ですか？」来るな、とも言え

ず、曖昧な答えでお答えするしかできない。最終的に密にならなければ良いのではないか、飲食をともにしなければ良い。友人・知人には時間を指定して自由にお参りに来ていただき、式には参加しない。通夜を行わず葬儀のみ集まる一日葬や親戚には通夜振る舞いをせずお弁当を配るなどと手を尽くしました。中には、このご時世でなぜか一般葬を希望する遺族、拒むこともできず、席を離し、消毒や検温器、様々な対策を取りました。参列者も案の定少なく、参加されたい方もやはり警戒されていたのが現状でした。

追い打ちをかけてきたのはウッドショックや円高もあり仕入れも高騰し、何もかもが値上げされ仕入れも儘ならない葬儀価格は他社との価格競争で平行線、何も良いことはありません。

コロナ禍から３年、コロナも年配者や持病を抱える人には大変なことになる大病ですが、やっと陽性者が減ってきています、しかし、まだまだ油断できない状況です。感染者も死者も以前とは減りつつあり、経済も社会も動き始めています。このまま昔のように人が街にあふれ、いつかマスクなしで皆様とお話しできる日を願っております。

最後に

葬儀に対する考え方は人それぞれで、「伝統に基づき、粛々と行う葬儀が良い」と考える人もいれば、「その時代にマッチした葬儀のしかたが良い」と考える人もいます。どちらが正しい・間違っているという問題ではないと思います。

葬儀で大切なのは、故人を想い尊重する気持ちです。また、ともに故人の冥福を祈り、哀悼の意を表し、残された者たちが力を合わせて生きていけるよう、協力と励ましの誓いを共有することです。

葬儀の形にこだわる必要はありませんが、どのようなスタイルの葬儀であれ、このことだけは忘れないでいただきたいと思います。

お聞き苦しいことも多々あるかと思います申し訳ありません。これが卓話になっているかわかりませんが、このような機会を与えていただき感謝しております。

以上、新入会員　小林伸行の卓話とさせていただきますご清聴ありがとうございました。

第1670回例会　10月24日

12:30～13:30　広島サンプラザ

広島廿日市RCとの合同公式訪問例会

会長時間

幹事報告

次週11月１日は日本点字制定記念日につき、例会にて以前実施した点字図書作成支援事業シリーズ50巻完成披露実施予定の案内。／例年実施のEREY100ドル寄付について、理事会にて今年も実施する事を承認。11月会費で１人100ドル寄付の協力依頼。／11月22日は今月グランドオープンしたヒルトン広島への職場訪問例会。廿日市RC会員にもご案内。希望の場合は前週金曜迄に西南RC事務局迄連絡のこと。

出席報告

会員数 65名　出　席 41名　欠　席 24名
　　来　賓　4名

プログラム

ガバナー卓話

「ガバナーから地区の皆様へ」

2710地区ガバナー　石川良興　様

新年度がスタートしました。新しい年度を迎えるに当たり、既にクラブ会長をはじめとするクラブ指導者チームの方々はPETSや地区研修・協議会に参加されました。それぞれの立場で万全の準備を進めてこられたことと思います。ここに改めてクラブ会員の皆様に新年度のRI会長テーマ、ガバナー信条をお伝えし、クラブ会員全員が元気なクラブ運営に取り組んでいただきますよう期待いたします。

○2022－2023年度　Jennifer Jones会長のテーマ

「Imagine Rotary」「イマジン　ロータリー」

・世界にもたらす変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。
・会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要だとし、積極的な参加こそが会員の維持にとって重要であり、会員がロータリーに何を期待するかを尋ねた上で、果たしがいのある責任を会員に与えることが必要だと述べています。
・テーマロゴは、オーストラリアの先住民族のアートで、環境は人々の繋がりを、周りの点は人々を表すと同時にロータリーの７つの重点分野を表しています。環と点を組合わせると航路を示す星、私たちの道しるべとなります。また、ロゴの３色（紫、緑、白）は、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI-Diversity、Equity、Inclusion）を強調し、また「紫-ポリオ、緑-環境、白-平和」を意味して新しさと力強さを表現しています。

○RIロータリーの戦略的優先事項（2019-20年度から５年間）

・より大きなインパクトをもたらす
・参加者の基盤を広げる
・適応力を高める

それぞれに目標が明示されています。その実現のためにはDiversity、Equity、Inclusionへのロータリーコミットメントが不可欠です。

○RI2022-23年度次目標

・ローターアクトをロータリー委員会委員（EX　ロータリー公共イメージ）に起用する。
・革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ成立する。
・2023年までにロータリー会員基盤の30％を女性にする。

○ガバナー信条と地区重点方針
「人生100年時代に向けて、健康寿命を伸ばそう」
～がん・生活習慣病の予防～
運営方針
・健康寿命を延伸することにより、５大奉仕と７つの重点分野を遂行するために必要な財団支援を行い、社会に貢献し、会員自身の成長と会員相互の親睦を育み、ロータリーの公共イメージを高める事により会員の増強を図りたい。
・中核的価値観とビジョン声明を実施する為に国際ロータリーの活動の指針であるDEI（Diversity、Equity、Inclusion）を検討し、クラブに合った意識改革と分析を行い、改善すべき事項は実行して欲しい。
・世界で良い事をしよう：地区補助金・グローバル補助金の活動推進と財団に協力をする。
・青少年交換プログラムの実施、７RACの会員増強とクラブ数の増加に協力する。
・DXの推進とMy Rotary 100％を目標とする。若い会員にDXを担当してもらう。
・国際大会（メルボルン）への参加を推進する。ガバナーナイトを行う。
・海洋プラスチックゴミを減らす。

掲　示　板

11月行事予定
❖11月１日（火）　例会
「点字図書全巻完成披露」を行う
（日本点字制定記念日に因んで）
13：45～　第５回理事役員会　ANAホテル４F
❖11月15日（火）　13：45～
第３回クラブ協議会　ANAホテル４F
❖11月22日（火）
職場訪問例会　ヒルトン広島

DONATION

	10月	年度累計
スマイル	58,000円	179,000円
100万ドル	38,337円	207,413円
善意の箱	4,954円	31,367円

スマイルボックス

10月４日

井上俊博会員　本日、皆さんの配布物のポストに、「ひろしまIT総合展2022」の案内を入れさせていただきました。10月20日（木）、21日（金）の２日間、広島産業会館西館にて、IT企業90社が、最新のIT技術、製品・サービスを展示・紹介する催しです。最近話題のメタバースで安土城を見学する体験コーナーもありますし、基調講演では「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」のチーフプロデューサー、解説主幹を務めた室山哲也さんの講演「DX時代到来！人工知能にどう向き合うか」も予定しています。皆さん是非お越し下さい。入場は無料です。

佐藤克則会員　今日、皆様の手元に、政経倶楽部広島支部８周年記念例会の案内を差し上げました。例会の講師は東洋思想家として高名な林英臣先生です。皆様の企業経営に役立つお話を頂けます。ぜひ御参加下さい。

小野　誠会員　おせち重のご案内を入れさせていただきました。和食・洋食・中華が楽しめる三段重をはじめとして、３種ご用意いたしております。ANAクラウンプラザホテル広島のおせちと共に新しい年をお迎えいただければ幸いです。

10月18日

稲田健二会員　広島西南ロータリークラブ　佐藤克則会長、会員の皆様、2018年（平成30年）に入会させていただいて４年間、色々とご指導いただきありがとうございました。私もまだまだ経営の勉強中で、例会に出席する機会が減り、役員を引き受けても中々活動できず、心苦しく思っておりました。そこに社内、社外状況の変化もありまして、今回退会させていただくことになりました。活動中は皆様に大変よくしていただき、とても感謝しています。今後も広島西南ロータリークラブが末永く続きますことを、心より祈っております。

小野　誠会員　イベントのご案内を入れさせていただきました。現代の名工に選ばれたANAクラウンプラザホテル広島総料理長　澤村が手掛けるフレンチと厳選した日本酒６種のペアリングを楽しんでいただくイベントを11月22日に開催いたします。大切な方とのひと時にご利用いただければ幸いです。

芝楽会　10月６日　若松ゴルフ倶楽部

10／６に福岡県の若松ゴルフ倶楽部にて芝楽会を開催いたしました。

名門コースだけあり、コースもグリーンも非常によく仕上がっていました。

優勝は岡田会員、準優勝は室﨑会員、３位は三宅会員でした。

非常に難関なコースだったのでスコアメイク大変な中、よく耐えてナイスゴルフでした。

芝楽会代表幹事　河原英二

順位	氏　名	OUT	IN	グロス	HD	NET
優勝	岡田　真規	47	45	92	19.0	73.0
準優勝	室﨑　雅宣	47	50	97	23.0	74.0
3位	三宅陽一郎	54	46	100	25.0	75.0
4位	鍵岡　　馨	57	56	113	36.0	77.0
4位	佐々木　宏	47	49	96	19.0	77.0
6位	尾﨑　順也	53	62	115	24.0	91.0
6位	河原　英二	55	51	106	15.0	91.0
8位	栗原　佑哉	66	71	137	36.0	101.0

第2回10年会　10月13日　美酒美肴はまゐ

10月13日（木）、美酒美肴はまゐにて、大山、岡田、尾﨑、小林、佐々木潤、時岡、山國（敬称略）の７名にてロータリークラブの話をしつつ美味しい食事を頂ながら小林新会員との親睦を図りました。２次会には、入会予定者の原屋さん、３次会には岡本（泰）会員も合流し更に交流も深まったと思います。次回は、オープン例会に参加された方にもお声掛けして親睦だけではなく会員増強にも繋がれば良いと思います。

真倫クラブ10月例会　10月２日

遊漁船「船井丸」ウマヅラハギ狙い編

ゲスト１名を含む総勢８名で開催しました。

朝６時に丹那漁港を出港し、倉橋島を更に南下し約40分で県境を越え、愛媛県の中島付近で釣行しました。

当日は絶好の釣り日和で、お目当てのカワハギの釣果は、数は13枚とイマイチでしたが、サイズの方は35～40cmと良型で、楽しい１日でした。

文：真倫クラブ　寺本

NPO法人友貧困ネットワーク広島会報No.41に掲載されました。

広島市へのコロナ対応要請

新型コロナウィルス感染第７波は幾分落ち着きを見せ始めていますが、引き続き感染に対する細心の注意が必要な状況は変わりありません。さらに広島市内の生活困窮者支援活動全体を見わたしてみても、対策に待ったなしの問題が生じています。広島市内のある困窮者支援団体では、シェルター入居者と職員の５数に感染が疑われる事態に陥ったところもあることから、当団体や他の団体も含めて今後の支援のありかを見直しせざるを得ない段階に突入しています。

この状況で最も問題となるのは、シェルター入居時点では感染していなかった利用者が、利用期間中にコロナ感染を疑う症状を発した場合、支援者がどこまで対応すべきかがこれまで確定していなかったことでした。そこで当団体は、８月30日に、同様の問題を抱える生活困窮者を支援する３つの団体（広島乗社会福祉士会、NPO法人風の家、NPO法人小さな一歩・ネットワークひろしま）とともに、特に重要と考えられる４点について広島市健康福祉局に市側の対応協力に関して協議の申し入れを行いました。

その内容は次のとおりです。

①シェルター利用者が罹患した場合の病院探し（PCR検査を含む）を、市の担当者であるケースワーカーが行ってほしい。

②病院への移送手段としてタクシーの利用を認め、費用も市で負担してほしい。

③陽性判断が出た場合の療養場所ごとに生じる問題に対応してほしい。

これについては、さらに次のような要望も示されました。

(1) 入居者が入院した場合は一旦シェルターから退去する扱いとし、他の入居希望者の利用を認めてほしい。

(2) シェルター内で療養する場合、費用負担を含め、だれが食事の世話などをするのかはっきりしてほしい。

(3) シェルター内での療養者に同室者がある場合、移動してもらう必要が出てくるが、その場合ホテルを一時利用する費用負担をしてほしい。

④シェルターの消毒などの費用負担をしてほしい。

こうした諸問題を今後とも市側と協議しながら、コロナ感染の完全収束まで対応できる仕組みづくりや、現状に応じた支援のあり方を探っていきたいと考えています。

各団体の申し入れに広島市の担当者が対応

広島西南ロータリークラブから寄付をいただきました！

９月６日、広島西南ロータリークラブの９月６日例会で、当法人の活動と広島での貧困の現状について卓話で話をする機会をいただきました。シェルター内の老朽化した家具什器備品を買い替える費用がない現状を踏まえて、今回、ベッドを９台寄付いただいたことで、利用者がより快適に過ごせるようになりました。

ロータリークラブ会員企業から贈呈の様子

快適になったベッド

3

反貧困ネットワーク広島シェルター利用状況
2009年５月１日から2022年９月30日まで
（単位：世帯）

年代	男性	女性	合計
10代	9	18	27
20代	157	67	224
30代	281	65	346
40代	348	94	442
50代	277	60	337
60代	195	42	237
70代	99	29	128
80代	10	9	19
不明	16	27	43
合計	1392	411	1803

単身 1665　夫婦 41　親子 93　その他 4

2022-2023年度　第４回理事・役員会　議事録

日　時：2022年９月27日　13：45～
場　所：ANAクラウンプラザホテル４F
出席者：佐藤（克）、杉本、宮﨑、根石、児玉、
岡本（倫）、上田、三宅、室﨑、長野、水谷、
佐藤（暖）、熊本

佐藤（克）会長挨拶

今年度もオープン例会は、地区を上げて取り組んでいき地区で結果をだしていく。

議事

⑴11月プログラムについて
11月１日地区要請がん予防卓話を調整中
11月８日戦略委員会杉川会員
11月15日財団委員会岩田会員
11月22日職場訪問例会（ヒルトン広島）

⑵公式訪問フォーラムテーマ発表と進捗状況について
５大奉仕と７つの重点分野について
ロータリーの公共イメージ向上について
10月24日（月）ガバナー公式訪問、廿日市RCとの合同開催
当日会場はサンプラザにて開催、ANAより貸切バス移動も検討中。当日は正装、ネクタイ着用をお願いします

⑶小林会員の歓迎会開催について
11月１日㈫夜間にて開催する

⑷例会出席者数とZoom配信について
10月18日（火）例会よりZoom例会を中止。ロータリーの活動、人と人との繋がりを大事にしなければならない。

⑸その他
東南RCからのIM返金について（前年度IM登録料はクラブ負担、返金が38,851円）－米山寄付に充てる事を承認
地区大会役員登録料負担について－ガバナー準備協力金から出金を承認
EREY100ドル寄付について－例年通り11月会費請求で実施を承認
９月度会計報告（別資料参照）
各理事役員報告
公式訪問案内、バス運行について

次回開催日

第５回理事役員会
日時：令和４年11月１日（火）13：45～
場所：ANAクラウンプラザホテル広島４F
プログラム委員会は12月のプログラムをご準備ください

閉会挨拶　杉本副会長

10月の会員記念日

会員誕生日

山國	豊	１日	先小山英夫	９日
影久	知也	８日	遠崎	秀一	10日
上田	直治	８日	根石	英行	11日
杉川	聡	８日	白築	忠治	23日

入　会　月

曽里	裕	H３年	桒田	博正	H23年
杉川	聡	H９年	橋本	幸範	H23年
根石	英行	H14年			

パートナー誕生日

白築忠治夫人	啓 子様	８日
徳納武使夫人	貞 子様	22日
岩田智博夫人	美恵子様	25日

結婚記念日

平原	一彦	７日	伊藤	英彦	21日
森	豊彦	12日	児玉	栄威	30日
佐藤	二郎	16日	室﨑	雅宣	31日
曽里	裕	18日			

創　業　月

石井	和彦	養神館病院	S７年
伊藤	英彦	㈱クロマ	H16年
梶本	尚揮	㈱綜合建築設計	S50年
岡田	真規	㈱リノベートファーム	H21年

編集後記

2022年11月15日発行

私がロータリークラブに入会した直後にコロナが蔓延し、例会や行事等が軒並み中止されました。10月は石川ガバナー公式訪問で廿日市ロータリーとの合同例会、心臓病の子供を守る会、貧困ネットワーク広島へのベッドの寄贈等色々なイベントが開催され、改めてロータリークラブでの行事が多岐にわたり行われていると実感致しました。観光客も増えコロナ感染者も増加傾向にあるようですが、しっかり感染対策をし今後もイベントが開催できるよう気を付けていきたいと思います。（尾﨑　順也）

発　行　広島西南ロータリークラブ
［会　長］佐藤 克則　［幹　事］宮﨑　真
［事務所］広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル13F
TEL 082-221-4894 FAX 082-221-4870
編　集　会報資料委員会

心臓病の子供を守る会様　久々のデイキャンプ　10月16日(日)

10月16日（日）約３年ぶりに、12家族38名の参加のもと中央森林公園でデイキャンプを行いました。

久しぶりのリアルイベントなので、子どもたちと一緒に豚汁を作ったり、焼き肉や焼きそばを食べたりしながら楽しい時間を過ごすことができました。久しぶりに会ったからか、最初はよそよそしかった子どもたちも、次第に打ち解けて楽しんでくれたようで企画して良かったと思いました。

西南ロータリークラブ様にはご支援を頂き誠にありがとうございました。

参加者より、感想が届いておりますので掲載します。

親子共に楽しい時間を過ごせました。自然の中で食べるお肉は美味しかったです。
子供達は、みんなでボール遊びができて楽しかったようです。
先輩ママさん達から色々な話も聞けて参考になりました（^^）
有り難うございました（^^）　**原藤**

お天気にも恵まれ、外でのデイキャンプはお肉も豚汁も焼きそばも美味しかったです。子供達もお兄さんやお姉さん達と一緒に遊んでもらって楽しかったようです。私も久しぶりに皆さんと交流できて楽しい時間を過ごすことができました。コロナでの制限が少しずつ解除して、また皆さんと過ごせる時間が持てるのを楽しみにしています。　**鳥岡**

久しぶりにみんなで集まれたことが何よりも良かったです。
子どもたちも、同世代で集まってお互いにいろんな話が尽きない様子でしたし、みんながそれぞれ成長しているのを見ることができて、親としてもとても刺激を受けました。
御支援いただいたロータリークラブ様にも感謝申し上げます。皆様、ありがとうございました。　**T**

久しぶりに会って話せて楽しかった。　**甲斐康大**

母の私自身も久々、さわやかな秋空のもと皆さんに会えて楽しかったです！一番印象深かったのは、息子含めた高校生、専門生たち同世代が数人集まって喋ったりしていた姿。少なくともうちの息子は、これまで親がいての本人参加だったのが、本人主体での関わりは初めてのことでした。
喋ってはいなくても、時折はイベントで顔を見てそれぞれに成長してきた時間があるからの事でしょう。これから心友会の年齢となっても、こんな風に繋がっていてほしいなあと思いながら、母には晴れ晴れとした気持ちのよい一日となりました。　**甲斐久美恵**

久々のデイキャンプ、とても楽しかったです。子どもは、みんなと仲良くできるかなと気にしていましたが、みんなでドッジボールするなど仲良く楽しんでいたので来て良かったなと思いました。
また次回も参加したいです。
事務局のみなさん、場所や食材など準備ありがとうございます。
石崎